

【SMARTIOクラウド】ご利用マニュアル

Version: v2.0.1

Rev	更新日	更新内容・理由
v1.0	2023.12.13	初版発行
v2.0	2025.8.4	操作盤のUI変更と、スペース文言変更および切り替え機能追加

目次

1. はじめに
 - 1-1. SMARTIOクラウドとは
 - 1-2. ご利用方法
 - 1-3. ユーザ権限
2. 利用を開始する
 - 2-1. SMARTIOクラウドにアクセスする
 - 2-2. スペースを登録する
 - 2-3. デバイスを登録する
 - 2-4. 操作盤の設定を行う
 - 2-4-1. 操作盤の追加
 - 2-4-2. 操作盤の編集
 - 2-4-3. 操作盤種別の説明
3. SMARTIOクラウドを利用する
 - 3-1. 操作盤を使用する
 - 3-2. デバイスのWebGUIにアクセスする
 - 3-3. ユーザを招待する
 - 3-4. スペースを切り替える
 - 3-5. 通知設定を行う
 - 3-6. 各種ログを表示する
4. デバイスの利用可能期限
 - 4-1. デバイス利用可能期限の延長
 - 4-2. ライセンスの購入
5. トラブルシューティング

1. はじめに

1-1. SMARTIOクラウドとは

SMARTIOクラウドはインターネットを通じ、SMARTIO端末を安全に遠隔操作するサービスです。SMARTIOクラウドには、以下の特徴があります。

- インターネット経由でSMARTIO本体に接続された設備の状態確認や操作が行えます
- 複数のデバイスをまとめた操作画面を作ることができます
- デバイスのWebGUIに遠隔地からアクセスできます
- ユーザを招待して複数人で利用することができます
- デバイスの通信状態を監視して、異常時はメールで通知することができます



SMARTIOクラウドにデバイスを登録するためにはライセンスが必要になります。



SMARTIOクラウドを利用するには、SMARTIO本体にアクセスして、SMARTIOクラウド上で発行された接続文字列を本体に登録する必要があります。

クラウド経由でSMARTIO本体に接続文字列を登録することはできませんので、初回設定時は必ずSMARTIO本体がお手元にある状態で作業を行ってください。

1-2. ご利用方法

SMARTIOクラウドは、PCやスマートフォンのWebブラウザでご利用いただけます。

推奨環境

- Google Chrome 最新版

1-3. ユーザ権限

ユーザには、「管理者」と「一般」の権限が存在します。

管理者	デバイスのWebGUIアクセス、ユーザ管理、各種設定など、全機能を利用できるユーザです。
一般	操作盤のみアクセス可能なユーザです。

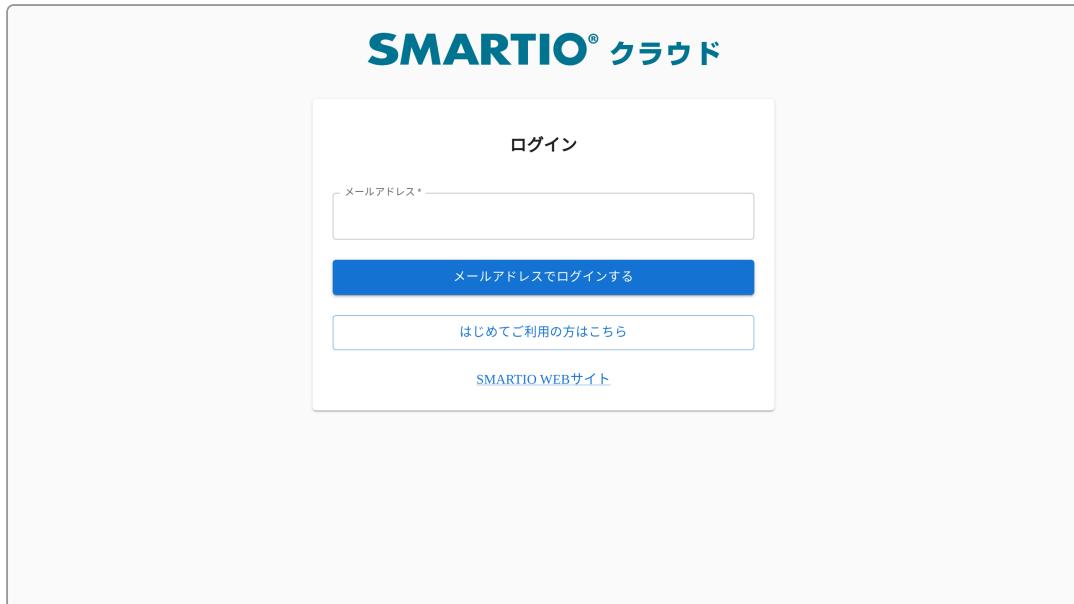


一般ユーザの場合、操作盤のみ利用できます

2. 利用を開始する

2-1. SMARTIOクラウドにアクセスする

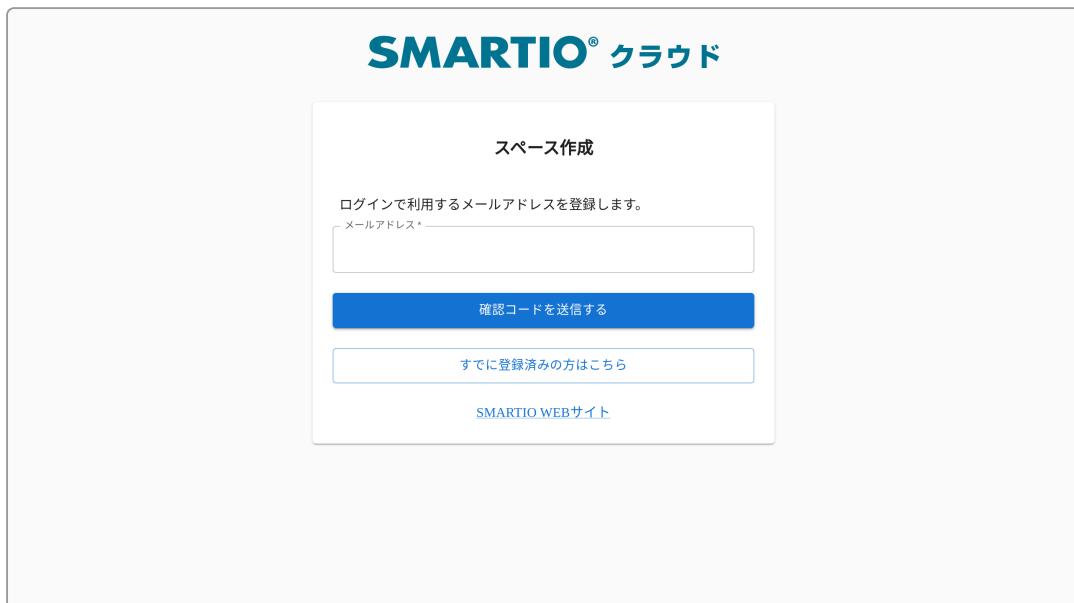
お使いのWebブラウザで、<https://cloud.smartio.jp/>にアクセスすることで、SMARTIOクラウドにアクセスできます。



2-2. スペースを登録する

「はじめてご利用の方はこちら」ボタンを押してスペース登録画面にアクセスします。

登録するメールアドレスを入力して確認コードを送信し、コードを入力してください。



確認コードは5分以内に入力してください。5分を過ぎた場合は、再度確認コードの送信を行ってください。

スペース情報を入力して、登録を完了します。

SMARTIO® クラウド

スペース作成

スペース名* _____

氏名* _____

メールアドレス
user1@example.com

設置場所* _____

利用用途* _____

利用規約に同意する

スペースを作成する

キャンセル

2-3. デバイスを登録する

SMARTIOクラウド上で表示する任意のデバイスの名前と、有効なライセンスコードを入力します。
ライセンスコードをお持ちではない場合、事前に ライセンスの購入を行ってください。

SMARTIO® クラウド

ユーザー1
○○○株式会社

操作盤
操作盤設定
デバイス
ユーザ
通知設定
スペース設定
セッションログ
アプリケーションログ
ライセンス購入
サポート情報

デバイス / デバイス登録

デバイス登録

登録デバイス

デバイス名* _____

使用ライセンスコード* _____
XXXX-XXXX-XXXX-XXXX

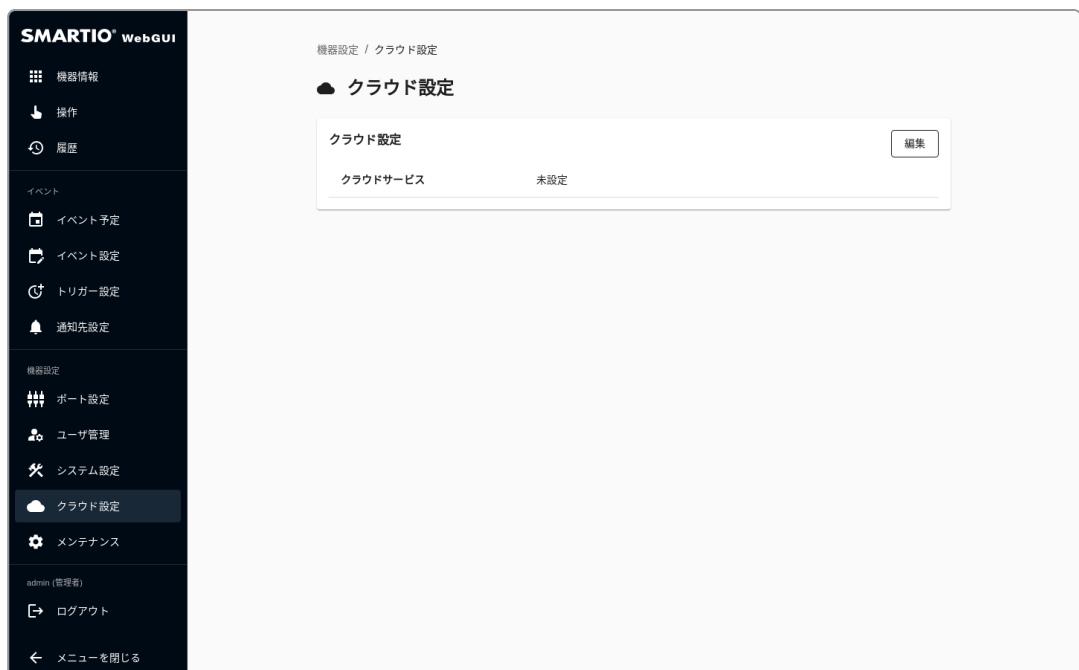
△ デバイスの有効期限を延長する場合は、デバイス詳細画面より「利用期限延長」を行ってください。

確認画面に進む

The screenshot shows the SMARTIO Cloud interface. On the left is a dark sidebar with white icons and text for navigation: 操作盤, 操作盤設定, デバイス (highlighted in blue), ユーザー, 通知設定, スペース設定, セッションログ, アプリケーションログ, ライセンス購入, and サポート情報. The main content area has a header 'デバイス / デバイス登録' and a sub-header 'デバイス登録'. It displays a table with one row: 登録デバイス (Device Name: デバイス1, License Code: XXXX-XXXX-XXXX-XXXX, Valid Until: 2025年12月04日まで (30日分)). Below the table is a note about license confirmation and a warning about license cancellation. A blue button at the bottom right says 'ライセンスを使用して登録する'.

The screenshot shows the SMARTIO Cloud interface after device registration. The sidebar and header are identical to the previous screen. The main content area has a header 'デバイス / デバイス登録' and a sub-header 'デバイス登録完了'. It displays a message 'デバイス登録が完了しました。' (Device registration completed). It instructs users to log in to the device's WebGUI and enter the connection string. A text input field contains the connection string 'xx'. Below it is a note about connection status and a link to support information. A blue button at the bottom right says '戻る' (Return).

デバイス(BSMT-R4P4)のWebGUIにログインし、「クラウド設定」画面で発行された接続文字列を登録します。



SMARTIOクラウドを選択し、SMARTIOクラウド上で発行された接続文字列を入力します

SMARTIOクラウド上のデバイス一覧画面で、デバイスの接続状態が接続中に変わることを確認します。

The screenshot shows the SMARTIO Cloud interface. On the left is a sidebar with icons for various settings like Control Panel, Control Panel Settings, Devices, Users, Notifications, Space Settings, Session Log, Application Log, License Purchase, and Support Information. The 'Devices' icon is highlighted. The main area is titled 'デバイス' (Devices) and contains a table for 'Device List'. The table has columns for 'Device Name', 'Connection Status', 'Usage Period', and 'Operations'. Device 1 is listed with '接続中' (Connected) in the status column, which is highlighted with a red box. Device 2 is listed with '切断中' (Disconnected) in the status column. The 'Operations' column for Device 1 contains 'アクセス' (Access) and '詳細' (Details) buttons. The 'Operations' column for Device 2 contains 'アクセス' (Access) and '詳細' (Details) buttons, with a note below stating '利用可能期限切れ 1999年12月31日' (Usage period expired December 31, 1999).

2-4. 操作盤の設定を行う

2-4-1. 操作盤の追加

操作盤設定画面で、「操作盤追加」ボタンを押し、追加する操作盤の名前を入力します。

The screenshot shows the SMARTIO Cloud interface. The sidebar on the left is identical to the previous screenshot. The main area is titled '操作盤設定' (Control Panel Settings). It displays a message '操作盤が存在しません' (No control panels exist). A blue rectangular button labeled '操作盤追加' (Add Control Panel) is located in the bottom right corner of the main area, with a red box highlighting it.



2-4-2. 操作盤の編集

デバイスの状態表示、操作を行う操作盤画面を編集します。





「空のブロックを追加」をクリックします



「行を追加」をクリックし、追加したい行要素を入力します。



2-4-3. 操作盤種別の説明

状態表示	デバイスの INPUT または OUTPUT ポートの状態(ON/OFF)を表示するパネルを作成します。
ワンショットボタン	デバイスの OUTPUT ポートを、一時的に ON・OFF 操作を行うボタンを作成します。 合わせて ON・OFF の一時的な状態変化時間を設定できます。
トグルボタン	デバイスの OUTPUT ポートの ON・OFF 状態を切り替えるボタンを作成します。 ※デバイスの電源が切断された場合の OUTPUT ポート状態は OFF になり、再起動後のポート状態はデバイスの設定に従います。
テキスト	文章表示を作成します。



3. SMARTIOクラウドを利用する

3-1. 操作盤を使用する

メニューから「操作盤」を選択し、操作盤一覧画面から事前に設定した操作盤画面を表示することができます。

操作画面では、表示されたボタンを押してデバイスのOUTPUTポートを制御したり、INPUTポートの状態を確認することができます。

The top screenshot shows the 'Operator Panel' section of the SMARTIO Cloud dashboard. It lists three operator panels: '1番区画', '2番区画', and '3番区画'. Each panel has a right-pointing arrow icon to its right. The bottom screenshot shows a detailed view of the '1番区画' operator panel. It includes a header with a back arrow and the text '1番区画'. Below this is a panel labeled 'パネル1' containing several controls: a red button labeled '空調フィルタ' with a '異常' tab, a grey button labeled '空調 ON', a red button labeled '空調 OFF', and a green button labeled '屋外照明' with a status indicator showing '点灯中' and a toggle switch. A note at the bottom states: '屋外照明は17時から翌日6時まで自動点灯します。' (Outdoor lighting turns on at 17:00 and turns off at 06:00 the next day).

3-2. デバイスのWebGUIにアクセスする

SMARTIOクラウドを経由して、デバイスのWebGUIにアクセスすることができます。

メニューから「デバイス」を選択してデバイス一覧画面を表示して、アクセスしたいデバイスの「アクセス」ボタンを押すことで、遠隔地からデバイスのWebGUI画面にアクセスすることができます。

デバイス名	接続状態	利用可能期限	操作
デバイス1	接続中	2099年12月31日	アクセス 詳細
デバイス2	切断中	利用可能期限切れ 1999年12月31日	アクセス 詳細

SMARTIO® WebGUI

ログイン

ユーザID

パスワード

ログイン

※パスワードを忘れた場合、本体の設定をすべてリセットする必要があります。
※設定をリセットするには、本体側面のリセットボタンを長押ししてください。

遠隔地からデバイスのWebGUIにアクセスできます



WebGUIにアクセスするには、別途WebGUIのログイン情報が必要です。



WebGUIを利用するには、該当デバイスのファームウェアバージョンがv1.5.0以上である必要があります。



WebGUIからネットワークの設定やクラウドサービスの設定を変更すると、SMARTIOクラウドとの通信が切断される場合があります。

デバイスにアクセスできなくなった場合、現地での作業が必要になる可能性がありますので、ご注意ください。

3-3. ユーザを招待する

ユーザの招待を行うことで、複数人でSMARTIOクラウドをご利用頂けます。

招待したいユーザのメールアドレスを入力します



招待されたユーザは、受信したメールに記載されたURLにアクセスして、登録を完了する必要があります



招待されたユーザはメールが送信されてから、24時間以内に登録を完了させてください。

3-4. スペースを切り替える

ログインしたまま、別のスペースへの切り替えが行えます。

グローバルメニューから、参加スペースの一覧画面を表示することができます。



スペース	表示名	権限
○○○株式会社	ユーザー1	管理者
株式会社△△	ユーザー1	管理者

スペース	有効期限	操作
××株式会社	残り10時間18分	参加



注意: 本サービスでは、1つのメールアドレスで複数のスペースに参加している場合に、スペースの切り替えが行えます。

3-5. 通知設定を行う

SMARTIOクラウドでは、以下の2種類の状態を検出し、通知が可能です。通知先登録数に制限はありません。

- **デバイス利用可能期限**

SMARTIOクラウドライセンスを利用したデバイスの利用可能期限(30日前、10日前)が近づいた際にメール送信します。

- **デバイス接続状態**

デバイスとクラウド間の通信が切断されたことを検出、メール送信します。

3-6. 各種ログを表示する

SMARTIOクラウドでは、以下の2種類のログが記録されます。

- セッションログ
- アプリケーションログ

セッションログでは、デバイスの接続、切斷の履歴が表示されます

SMARTIO® クラウド

ユーザー1
○○○株式会社

アプリケーションログ

期間開始 mm/dd/yyyy ~ 期間終了 mm/dd/yyyy ログ種別 全て 検索ワード 検索

全1件

日時	ログ種別	メッセージ
2023年01月01日05時00分00秒	操作パネル操作	テスト太郎さんが「屋外照明」を「点灯中」しました。
2023年01月01日04時30分00秒	通知パネル設定	テスト太郎さんが操作パネル設定を追加しました。
2023年01月01日04時00分00秒	ライセンス使用	テスト太郎さんがデバイス「デバイス1」に対してライセンス「XXXX-XXXX-XXXX-XXXX」を使用しました。利用可能期限2023年01月31日まで
2023年01月01日04時00分00秒	デバイス管理	テスト太郎さんがデバイス「デバイス1」を追加しました。
2023年01月01日03時34分56秒	ログイン	テスト太郎さんの登録が完了しました。
2023年01月01日03時34分56秒	ログイン	テスト太郎さんがスペースを作成しました。

<< < > >>

アプリケーションログでは、クラウド上でのシステム動作が表示されます。

4. デバイスの利用可能期限

4-1. デバイス利用可能期限の延長

ライセンスコードを使用して、デバイスの利用可能期限を延長することができます。
ライセンスコードをお持ちではない場合、事前に [ライセンスの購入](#)を行ってください。



利用可能期限は最大で5年先まで延長可能です。

メニューから「デバイス」を選択し、デバイス一覧画面を表示して、該当デバイスの「詳細」ボタンをクリックします。

デバイス名	接続状態	利用可能期限	操作
デバイス1	接続中	2099年12月31日	アクセス 詳細
デバイス2	切断中	利用可能期限切れ 1999年12月31日	アクセス 詳細

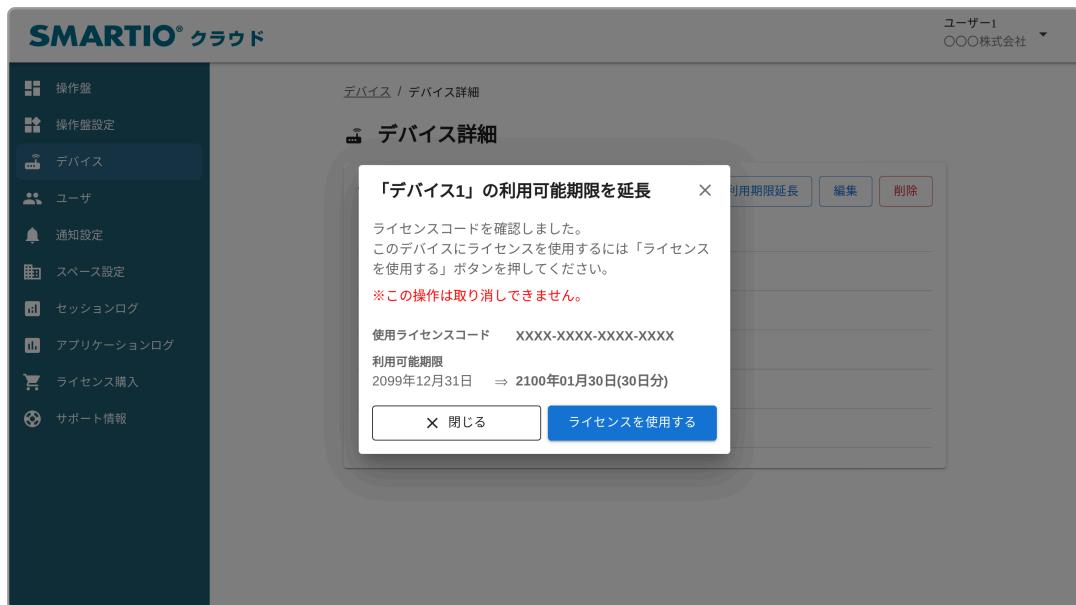
デバイス詳細画面上の「利用可能期限延長」ボタンをクリックします。

デバイス情報		接続設定情報	利用期限延長	編集	削除
デバイス名	デバイス1				
デバイス種別	BSMT-R4P4				
ファームウェアバージョン	1.0.0				
シリアル番号	1234567890				
利用可能期限	2099年12月31日				
備考	備考				

ダイアログが表示されますので、ライセンスコードを入力し、「確認画面に進む」をクリックします。



利用可能期間の延長期間を確認し、「ライセンスを使用する」をクリックします。



4-2. ライセンスの購入

「ライセンス購入」画面にて、ご希望の期間のライセンスと数量をお申し込みください。

ライセンス申込完了後は、当社からお振込依頼のメールを送信いたします。

指定口座にお振込いただき、当社にて入金が確認できましたら、ご入力されたメールアドレス宛にライセンスコードをお送りいたします。

- !** ライセンスは発行されてから150日以内に使用する必要があります。
使用期限を経過したライセンスはご使用いただけません。
なお、使用期限が経過した場合の、払い戻しはお受けできません。

SMARTIO® クラウド

ユーザー1
○○○株式会社 ▾

操作盤 操作盤設定 デバイス ユーザ 通知設定 スペース設定 セッションログ アプリケーションログ ライセンス購入 サポート情報

SMARTIOクラウド利用ライセンスの購入申込

購入ライセンス	期間	価格（税込）	申込数量
	30日間（1ヶ月間）	5,500円 / デバイス	0
	180日間（6ヶ月間）	16,500円 / デバイス (月2,750円)	0
	365日間（1年間）	19,800円 / デバイス (月1,650円)	0
	1095日間（3年間）	55,000円 / デバイス (月1,528円)	0

見積もりを発行する

特定商取引法に基づく表記

ライセンスのお支払い方法は、銀行振込になります。
ライセンスを延長する場合も、上記より延長する期間を選択し、見積もりの発行依頼をおこなってください。

次へ

SMARTIO® クラウド

ユーザー1
○○○株式会社 ▾

操作盤 操作盤設定 デバイス ユーザ 通知設定 スペース設定 セッションログ アプリケーションログ ライセンス購入 サポート情報

SMARTIOクラウド利用ライセンスの購入申込

購入ライセンス	期間	価格（税込）	申込数量	合計
	30日間（1ヶ月間）	5,500円 / デバイス	0デバイス	0円
	180日間（6ヶ月間）	16,500円 / デバイス (月2,750円)	0デバイス	0円
	365日間（1年間）	19,800円 / デバイス (月1,650円)	3デバイス	59,400円
	1095日間（3年間）	55,000円 / デバイス (月1,527円)	0デバイス	0円
	合計(税込)			59,400円

申し込み手続き情報

連絡先メールアドレス *
test@abc.aaa

本メールアドレスにライセンスコードをお送りします。

銀行振込元名義 *

弊社での入金確認に必要な情報です。お振込みされる口座名義をカタカナでご入力ください

スペース名 *
○○○株式会社

担当者名 *
ユーザー1

備考

購入申込後、30日以内にお振込みが確認できない場合、自動で申込キャンセルとなりますので、必要な場合は再度購入申込を行ってください。

ライセンス発行後は、150日以内にライセンスを使用する必要があります。

戻る 申し込む

5. トラブルシューティング

デバイスが接続中にならない

- SMARTIOクラウドを利用するには、SMARTIO本体にアクセスして、SMARTIOクラウド上で発行された接続文字列を本体に登録する必要があります。
クラウド経由でSMARTIO本体に接続文字列を登録することはできませんので、SMARTIO本体がお手元にある状態で作業を行ってください。
- SMARTIOクラウドを利用するには、SMARTIO本体がインターネットに接続できる必要があります。
SMARTIOが接続されたネットワークからインターネットに接続できることを確認してください。

ライセンスコードが使用できない

- ライセンスコードが正しく入力されているかご確認ください。
大文字・小文字、ハイフンの有無などに注意してください。
- ライセンスコードの使用期限が過ぎていないかご確認ください。
ライセンスコードは購入してから150日以内に使用する必要があります。
- 既に同じライセンスコードが使用されていないかご確認ください。
ライセンスコードは1回のみ使用可能です。

上記を確認しても問題が解決しない場合は、SMARTIOサポートまでお問い合わせください。